

平成30年度 学校評価

加古川市立別府中学校

学校教育目標 「一人ひとりを大切にし 共に生きる心と力を育てる」

めざす学校像 「みんなの瞳 輝く 学校」

～挨拶・協力・感謝の実践化を通して～

＜重点目標＞

- ①知・徳・体をバランスよく育て、「自ら生きる力」を育む
- ②基礎的基本的な学力の定着をはかり、主体的に学び、考え表現する力を育てる
- ③生徒の主体的な活動の活性化をはかり、「共に生きる心と力」を育む
- ④いのちを大切にし、人権を尊重する教育を推進する
- ⑤一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な教育的支援を行う
- ⑥危機管理意識を高め、安全・安心な学校を創造する
- ⑦教職員としての指導力と資質向上に努め、よりよい組織形成をめざす
- ⑧地域から信頼される教育の環境づくりに取り組む

○評価基準

- 4:よい
- 3:ややよい
- 2:やや悪い
- 1:悪い

評価指数の平均値は2.5 平均3.5以上で○、2.5未満で△(そのうち2.0未満を▲)として表示

領域	質問項目 (学校の自己評価アンケート)	評価指数			質問項目 (保護者・生徒アンケート)	評価指数			改善の方策	関係者評価	
		今年	昨年	一昨		今年	昨年	一昨			
学校生活全般	1 生徒のあいさつ	3.2	3.5	2.7	生 地域や学校で進んであいさつができた。	3.4	3.4	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・地域でのあいさつや校内でも自分からのあいさつなどやや低調になっている感がある。現状は不十分ではないかという視点に立ち、指導していく。 ・行事や生徒会活動は、協力して取り組んでいる。さらなる充実に努めたい。 ・学校生活の充実について評価が高かった。この結果に甘んじることなく今後もこれが継続していくようさらに努力したい。 ・学校生活は充実している ・学校生活を充実感・満足感をもっている ・学校は子どもが学習するのに適した環境である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校内や登下校時のあいさつはできているように感じる。 ・地域でのあいさつは、相手を知っているからこそできるということもある。不審者対策からあいさつをしないようにしているマンションもあると聞いている。 ・あいさつするべき時には、しっかりとできるように指導していくのも一つの方法かもしれない。 	
	2				保 自分から進んであいさつをしている。	3.1	3.1	3.0			
	3 生徒の協力性	3.3	3.1	2.8	生 係や班活動、行事などで級友と協力して取り組んだ	3.4	3.5	3.3			
	4				保 家庭の中で協力的	2.9	2.8	2.8			
	5 まわりへの感謝				生 周りの人に感謝している	○	3.5	3.4			3.4
	6				生 学校生活は充実している	3.4	3.4	3.4			
	7 学校生活での充実度	3.4	3.4	3.2	保 学校生活を充実感・満足感をもっている	3.1	3.1	3.0			
	8				保 学校は子どもが学習するのに適した環境である。	3.0	2.9	2.7			
学習(学力向上)	9 学習規律	○	3.6	2.7	生 ベルスタはできた	3.3	3.4	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・ベルスタは定着し、全体として授業は落ち着いている。その状態が維持できるかは、教師の動きにかかっている。 ・視聴覚機器を活用できる環境整備を求めるとともに、テーマを設けた授業交流などを通して授業力向上に取り組む。 ・朝学習の時間などで、「自学自習できる力や習慣を身につける」ことを目標に全校的に取り組む。 ・公開授業週間を活用して互いの授業力向上を図る。 ・平日のノー部活デーの放課後に、個別の学習会をするなど検討したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた学習環境を今後も維持してもらいたい。 ・基礎的な学力がついておらず、中学校の勉強についていけない生徒に対する配慮をしてほしい。個別学習をするなどの手立てを充実させてほしい。 ・勉強に対する「やる気」をどう持たせるかが大切だ。 	
	10				生 準備物宿題提出物	2.9	2.8	2.8			
	11 基礎的な知識技能、学力の定着	2.7	2.7	2.5	生 授業はわかりやすかったか	2.9	3.0	2.8			
	12				保 授業内容を理解している	*	3.2	2.7			
	13 思考力・判断力・表現力	2.6	2.5	2.2							
	14 ことばの力	2.5	2.3	2.1							
	15 家庭学習	2.8	2.8	2.4	生 家庭での学習時間は、3時間以上～30分以下	2.5	2.4	2.4			
	16				保 家庭学習の習慣が身についている	2.6	2.6	2.5			
17 教師の授業力向上	2.6	2.6	2.6								
18 個に応じた教育的支援	2.7	2.7	2.6	保 学習の様子や努力を適切に評価している	3.0	2.9	2.9				
人権・道徳	19 生徒の道徳的実践力	2.7	2.8	2.5	生 思いやりの心を持ち、人を大切にしている	○	3.6	*	*	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育については年度末に生徒に対して「ふり返りアンケート」を実施し理解度の確認をするとともに次年度の全体計画を立てる。 ・道徳教育については来年度からの教科化に向け年間計画を見直すとともに、授業力向上や実践力向上に努めたい。 ・みかしお学級については、職員研修を通して共通理解をはかり、学級生の意欲的な取組を支援したい。 	
	20				保 思いやりの心を持ち、人を大切にしている	3.3	*	*			
	21 生徒の同和教育への知識理解度	2.5	2.4	2.3							
	22 人権・道徳の授業力	2.6	2.5								
	23 計画からの実施状況	2.6	2.7	2.6							
	24 みかしお学級での活動	2.8	2.9	2.5							
特別活動	25 行事、生徒会活動	3.2	3.2	2.9	生 委員、係の活動に積極的に取り組んだ	3.3	3.3	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度の行事の見直し・検討を現在行っている。 ・部活動については、9月からノー部活デーが定着している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の休養日について意識されるので、「ノー部活デー」も一定の効果がある。 	
	26 部活動を通しての成長	3.1	3.2	3.0							
生徒指導	27 生徒の服装・頭髪の乱れ	3.4	3.2	2.4					<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導体制が整い、組織的に対応している。報告連絡相談などの連携体制の徹底を継続していきたい。 ・生徒指導、不登校・いじめ対策推進委員会を機能させ、問題の未然防止、早期発見、早期対応に努めたい。 ・細かなルールなどについて今後も共通理解を図っていきたい。 ・不登校生への関わりなど地域に協力を求めることには、個人情報の問題もあるが、必要に応じて情報を共有し、多方面からの協力が得られるようにしてはどうか。 ・今後、地域と学校の協働体制を組織し継続していく方向であることは理解している。 		
	28 生徒の服装・頭髪以外の生活ルール	3.2	3.1	2.4	生 ルールを守って生活した	○	3.6	3.5		3.4	
	29 生徒指導力の向上	2.6	2.6								
	30 教師間の共通理解や指導の方向性	2.9	3.1	2.6							
	31 学年間の連携	2.9	2.9	2.6							
家庭・地域との連携	32 現状や取り組みを、便りやホームページなどでわかりやすく伝えている。	3.1	3.2	2.9	保	3.1	3.1	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニットだよりを地域回覧することで学校園だけでなく、地域にもユニットの取り組みを広く知らせることができた。今後も情報発信に努めたい。 		
	33 学校をよく知ってもらうために、参観できる機会を適切に設けている。				保	3.2	3.0	3.0			
	34 PTA、地域、ユニットなどの取り組み				保	3.3	3.2	3.2			
	35 子どものことについて、気軽に相談することができる。				保	2.8	2.7	2.7			
	36 地域や保護者の意見に丁寧に対応している				保	3.0	2.7	2.7			
学校運営	37 学校目標の明確さ	3.1	3.1	2.9					<ul style="list-style-type: none"> ・不登校生への関わりも、学級担任が中心になるだろうが、専門に関わる人員も配置されるべきではないか。教員の業務があまりにも広すぎる。 ・超過勤務時間の1割削減を目標にしているがなかなか達成できない。 ・教員の危機管理意識が低くなっていることが危惧される。職員研修などを通して、常に高い危機管理意識を持ち、指導力や資質の向上に努めたい。 		
	38 学校としての組織的な活動	2.9	3.0	2.8							
	39 勤務時間の適正化・業務改善	△	2.4	2.3	2.2						
	40 設備施設の改善	2.6	2.6	2.6							
	41 報告連絡相談などの連携体制	3.0	3.1	2.8							
	42 危機管理対応	2.8	2.9	2.6							
	43 研修の充実度	2.8	2.9	2.8							